

# 花びと通信

No.32 2019年8月20日

花びと会しば

## 平成31年度 総会報告

4月17日（水）千葉市生涯学習センターにおいて、総会が開催されました。30年度の事業報告、収支決算報告並びに31年度の受託事業（啓発、イベント）、自主事業（研修会、講習会）、収支予算がすべて承認されました。

総会に先立ち、藤平眞一郎さん（賛助会員）から、「魅力あるシダ植物の世界」と題して、興味深いご講演をいただきました。

## 講演会 「魅力あるシダ植物の世界」～シダと付き合い50数年～

日時：4月17日（水）14:00～15:00 場所：千葉市生涯学習センター

講師：藤平眞一郎さん（賛助会員） 参加者：20名

苔玉づくりに定評のある藤平先生の講演会に参加しました。シダは道端や石垣、木の幹、水田などの湿地でよく見られるという。胞子から繁殖。約4億年前に出現してから現在も生き抜く、たくましい植物です。世界に約1万2000種が分布。雨量の多い日本には約1000種。うち千葉県には約250種が生育しているそうです。

食用とされてきたのはワラビ、ゼンマイ、コゴミなど。また、花材にも用いられ、観葉植物としても広く親しまれてきました。その栽培と管理の仕方も教えて頂きました。沢山の映像を見てシダ植物が少し身近になりました。いろいろなシダ植物と出会えるようにちょっと気をつけて、歩いてみたいなと思いました。

【渡辺 美知子】

## 会員研修 動物園 de「八重桜めぐり」

開催：4月13日（土） 場所：千葉市動物公園

新園長を迎えて、話題の千葉市動物公園にて、新企画「八重桜めぐり」研修会を行いました。西口近くの駐車場内に、満開の八重の一本桜。濃いピンク色の華やかなベニユタカです。小さな花をブラシ状につけるウワミズザクラの下を通り「ぐるっとライナー」に乗車。風太くん舎を通過すると、貴重な白色の大輪の桜、コマツナギが見えた。ふれあい動物の里に到着後はウォーキング。途中で、サクラの仲間であるセイヨウバクチノキが数個咲いているのを発見：カンザン、フゲンゾウ、サトザクラなどが並ぶ緩やかな坂道を下る。そこから青モミジに囲まれた静謐の大池へ。一面にスイレンの葉が浮かぶ。大賀ハスの咲くころ、スイレンの白い花も咲き誇るそうだ。Uターンして、八重桜広場に向かう。



出会った桜ガイドのボランティアさんが、イチ押しのイチハラトラノオをじっくり観察。短い枝の周りにびっしりと桜花が開いて、虎の尾のように見えるのが名前の由来らしいが、とても美しく見ごろだった。

園内には約20品種の桜が植えられており、早春からお花見が楽しめるという。今回は桜の多様性を学ぶ楽しい花めぐりとなりました。

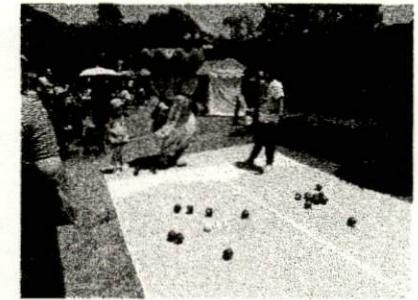
## 令和元年 大賀ハスまつり

開催：6月15日（土）～23日（日）

今年度も、9日間の開催となりました。初めての取り組みとして、出店者を公募し、開催場所も運動広場に移し土日の4日間行いました。また、ちば産学官連携プラットフォームの取り組みとして地域に所在する大学の学生さんにも4日間ご協力を頂きました。着ぐるみを着て来場者に大賀ハスまつりのPRと2020年開催のパラリンピックで行われる「ボッチャ」の体験コーナーを担って頂きました。

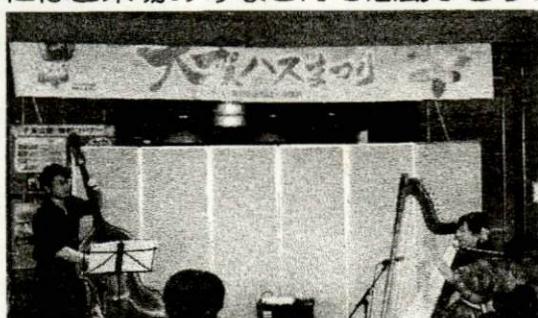
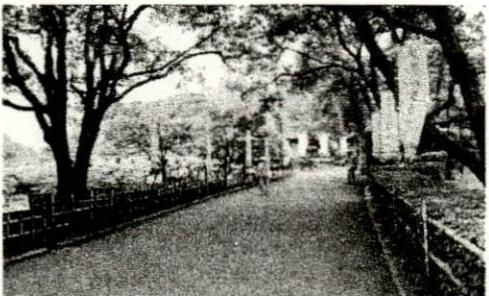


多くの団体や地域の自治会はじめ関係諸団体の皆さま方のご協力を頂き、無事終了できました事に心から感謝申し上げます。公園の内外に、沢山の幟旗を立てた事で多くの方が訪れてください、来園者も昨年を上回りました。「大賀ハスまつり」を夏の風物詩として定着させたいものです。



\* \* \* \* \*

大賀ハスまつりでは、前半及び後半の土曜・日曜の4日間は蓮華亭内でアトラクションを催しています。千葉市内で活躍するプロ・アマのミュージシャンに出演をお願いしました。初日の熊谷千葉市長をお招きしての開会セレモニー終了後すぐの山田流箏曲演奏家である朝香麻美子さんの厳かな箏の調べに始まり、この日のために大賀ハスの可憐さや美しさをご自分で作詞作曲してくれたイダセイコさんのギター弾き語りによる「悠久の花」にはご来場のみなさんも感動しきりのご様子でした。千葉市の姉妹都市アウンシオン市



あるパラグアイの民族楽器「アルパ」の演奏家で、24時間テレビにも出演している池山由香さんはコントラバスを率いて誰もが知っているラテンナンバーを軽快にご披露、市内のライブハウスなどではスゴ腕で有名な村松大さんは熱く鬼気迫る津軽三味線、優雅な雰囲気漂う加藤玲名さんは美しく繊細なバイオリンの音色を響かせ、日本太鼓さん、空想和太鼓

「打雅獅屋」さんの勇壮で迫力溢れる和太鼓演奏には場内が圧倒されました。また、千葉市にゆかりあるセミプロやアマチュアの方々もこれらプロの演奏にも負けないくらいクオリティの高い演奏でまつりを盛り上げてくださいました。お花にちなんだ選曲、バラエティに富んだジャンルで聴衆を飽きさせないパフォーマンスには脱帽です！ 出演14団体総勢50名以上の方々にはこの場をお借りしてお礼を申し上げますとともに、何よりも演奏に耳を傾けて楽しんでくださいましたご来場のお一人おひとりに感謝いたします。来年も楽しみにしてください



【日野 達弥】

## 大賀ハスに囲まれた蓮華亭



年々規模が大きくなります「大賀ハスまつり」に今年も演奏の機会をいただきまして、ありがとうございました。初日の朝の演奏でしたが、大雨が心配の中、何とか小雨となり、ほっといたしました。

今回は蓮華亭を湖に浮かぶ島と見立てまして、山田流箏曲の名曲、音楽の神弁財天をまつる島《竹生島》を歌とお箏だけではなく、本来のかたちでと三弦も入れての演奏の試みでした。箏曲の古典といわれる曲は、長く、また言葉も難しく、面白さがなかなか伝わりづらいと思います。現に私自身、古典曲の魅力を気づきますのに随分遠回りをしました。今は、先人の生き方、感じ方などを想像させてもらえるものとなっています。皆様に箏曲の楽しさをお伝えしたいという思いを、大賀ハスの美しさ、それを見届けられる蓮華亭に助けていただいたように思います。

大賀ハスまつりがこれから多くの方々に楽しんでいただけますように願っております

山田流箏曲 朝香麻美子

## コケ玉づくり

昨年同様ワンコイン講座を2回、出店でのミニ講座と子どもからお年寄まで多くの参加をいただき楽しんでもらいました。コケ玉の魅力は、何と言っても“かわいい・おしゃれ”そして太古から生き続けるコケの世界を植物とともに味わえる、身近にいやし空間を演出でき楽しめることです。また、簡単に自分でつくれることも人気の一つかもしれません。観葉植物などの根鉢をドロ（ケト土主体の練りこんだ混合土）で包み、ハイゴケを張りつけ糸でしばって完成です。ポイントはドロの微妙な硬さとコケをドロに密着させることです。皆さん丁寧かつ真剣に作業に取り組み、完成した自分だけのコケ玉を満足げにながめており、ブチ達成感を味わっていました。

夏場はコケ玉にとってきびしい季節です。どうぞおだいじになさって下さい。

藤平 真一郎



## 気功太極拳 6月17日(月)~18日(火) 7:00~7:45

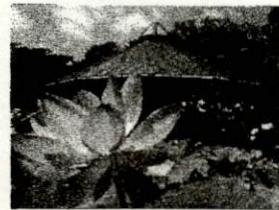


本年もまた古代ハスのロマンを秘めた「友好と平和の使者」大賀ハスの前で太極拳のひとときを頂きました。まだ殆どが開花を待つ状態で、ハスの葉が出していると思われる香り、気配に包まれました。通りがかりの太極拳にご縁のある方や一般の方々にも加わって頂きました。千葉公園という大自然の中で、多くの方々の丹精によって見守られ育まれている「いのち」を身近に実感する機会を頂いた思います。演舞中にチラッと目に入ったその方はすっかり場に溶け込んでいるようでした。終わって軽食を頂きながら話をしました。『通りかかって輪の中にはいりました。懐かしさひとしおでした。20年前まで楊名時太極拳を続けていました。県武道館での「集い」にも参加していました。教室での先生は、ITさんとINさんでした。』奇遇でした。思いがけないお話に、テーブルの雰囲気は盛り上がりました。大賀ハスまつりでの不思議なめぐり逢いに、今もときめきを覚えます。深謝です。

楊名時太極拳師範 竹内 敦

## 蓮・オオガハス

夏ともなれば日本のあちこちにハスの花が咲き、夏の風物となってい  
る。ハスそのものはしらなくても、日本人の誰でも知っている花の一  
つである。またレンコンは食用にされています。中国では君子(人格者  
のこと)の花、インドでは聖なる花に対し、日本人は、ハスと言うと仏  
事の花、暗い花というイメージをもっている。日本人の多くは、ハスを知ってるが、その  
不思議な美しさを知ることなく、一つの因習をもってみているのではないか。  
明治時代のあそびのうた「ひらいた ひらいた」に出てくる”レンゲの花”は、春の野に咲  
くレンゲソウではありません。蓮華---つまり「蓮の華」のことです。ハスの花(四日間)  
の生態をよく表しているわらべうたです。市の花、「オオガハス」世界最古の花として世界中  
に広がっている、千葉市が誇る地域資源の一つです。



【ハス守り：大槻征一】

## 講師派遣事業 「コケ玉つくり」

大賀ハスまつりが終わり、ホッとする間もなく、市内の公民館から前年度からの依頼  
を受けて、6月25日(火) 轟公民館(25名)、6月29日(土) 幸町公民館(17名)  
両公民館の主催事業に講師派遣をいたしました。メイン講師には、シダの講師を務めて頂  
いた藤平さんに、サポートを会員3名行いました。両公民館とも応募定員をはるかに超え、  
キャンセル待ちがでたそうです。参加者の中には昨年の大賀ハスまつりでの体験講習が大  
人気で参加できず、待ちに待った一年越しのリベンジですという方もいらっしゃいました。  
ワイワイ、ガヤガヤ、泥んこ遊びの感覚で楽しい雰囲気の中 ”まんまる苔玉“ 作り終  
えました。

## 市民会館花壇の植栽

7月8日(月)に市民会館の花壇に会員8名で花苗の植え込み作業をしました。今回の花  
はジニア(百日草)。名前のように秋まで咲き続ける花です。作業をしている時、道行く人  
に「きれいですね」、「いつも楽しみに見ています」などと声をかけて頂き元気がでます。  
このところ天候不順の日が続き花にとっては厳しい日々だと思いますが、頑張れ百日草！

【畔田幾子】

10月16日(水)～20日(日)	フラワーフェステバル	三陽メディアフラワー・ミュージアム
10月15日(火)	花議連コンテナ作成(午前)	同上
10月15日(火)	ビスコッティつくり(1時～5時)	千葉市男女共同参画センター
10月19日(土)	親子寄せ植え(1時～2時半)他	三陽メディアフラワー・ミュージアム
10月20日(日)	ハーバリュウム講習・花カフェ	同上
11月上旬	花議連との意見交換会	議会棟
11月後半	会員研修(押絵)	中央コミュニティセンター



## 個人会員&賛助会員 募集！

花や緑に関心のある方一緒に活動しませんか。

研修会、講座、講演会等を開催しています。

個人会員・団体会員:年会費:1,000円

賛助会員 個人:年会費:3,000円

団体・企業年会費:5000円

## 花びと会ちは

事務局「千葉市都市局公園緑地部緑政課」

〒260-8722 千葉市中央区千葉港 2-1

中央コミュニティセンター9F

Tel043-245-5753 Fax043-245-5885

midoritohana@city.chiba.lg.jp